

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

平成22年7月号

黄色いアサザの花は6月下旬から7月が見頃です。

6月の活動報告と7月の活動予定



緑化活動 6月22日
(ニシキギ植栽)



外来魚駆除活動

沼の魚やエビを食べるブルーギルを駆除しています。

最近、数を増やしつつあり、その影響が心配されています。



ブルーギル。タイのような形をしています。

東北電力と畑岡小学校の4年生がセンター周辺で、ニシキギを植えました。秋には実をつけ、鳥たちの食べ物になります。

お知らせ

① 自然体験講座

開催日：7月24日 10:00-15:00

場所：サンクチュアリセンターつきだて館
(内沼：旧築館町)

昆虫採集と標本作り

参加費 600円 (子供 500円)

申し込み〆切：7月21日

標本を作ります。夏休みの自由研究にどうぞ。



←オニヤンマをつかまえた！

昆虫採集の様子→



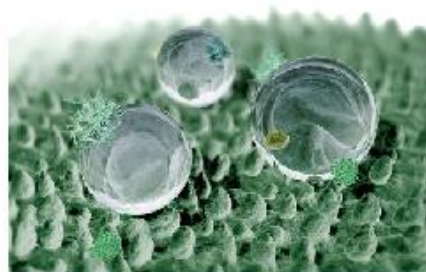
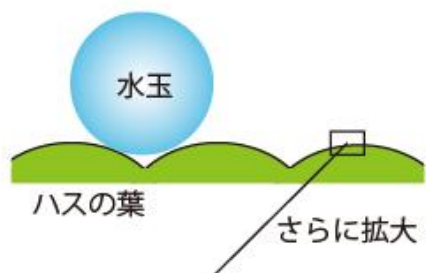
ハス： *Nelumbo nucifera*

スイレン科の植物。英名はロータス (Lotus) 7月から8月にかけて直径約20cmの花をつけます。



ロータス効果： Lotus effect

ハスの葉に水を落とすと、よくはじいて水玉が葉の上にあります (右の写真)。これは、サトイモの葉でも見られます。



イラスト： William Thielicke
(ウィキペディアHPより転載)

ハスの葉を顕微鏡で見ると、でこぼこしているのが分かります (左の図)。

電子顕微鏡などを使って、ハスの葉のでこぼこをよく見ると、さらに細かい突起が葉の表面に付いているのが見えるそうです (左のイラスト)。

でこぼこした形と細かい突起が、水を水玉のままに保ち、葉に水がべったりとついてしまうのを防いで、葉をきれいに保っています。

この発見はハスの葉の英名に合わせて「ロータス効果」と呼ばれ、水をはじく塗料や屋根などの素材の開発に、この発見が使われています。

ハスには、葉っぱだけでなく、花、種にも不思議な話がいっぱいあります。

お問い合わせ

(財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
Tel : 0228-33-2216 Fax : 0228-33-2217
e-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
〒989-5501
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2